

川崎市の自動運転バスプロジェクト - KAWASAKI L4 Bus Project - レベル4^{※1}実装に向けて、経路生成 AI を新たに搭載します ～国の自動運転社会実装推進事業に3年連続で採択されました～

川崎市は、令和9年度の自動運転バスのレベル4実装を目指して、「KAWASAKI L4 Bus Project」を推進しており、今年度はあらかじめ定めたルールに基づいて進行経路を判断するシステムに加え、新たに、次にどう走行すべきか自ら考える「経路生成 AI」を搭載します。これにより、より人間に近い滑らかな運転の実現と自動運転率の更なる向上を目指します。

なお、本事業は、国土交通省の「自動運転社会実装推進事業」(概要は次頁)において、重点支援事業に採択されました。採択は3年連続となります。

※1 レベル4とは場所や天候、速度などの特定条件下で、システムが車の全ての運転操作を担う完全自動運転のことです。

1 今年度採択された「KAWASAKI L4 Bus Project」について

(1) 新たに経路生成 AI を導入

従来は自動運転バスの周囲の物体認知にのみに AI を活用し、進行する経路はあらかじめ定めたルールに基づいて自動運転システムに判断させていましたが、次にどう走行すべきか、という行動計画や予測にも AI を活用することで、人間の運転行動に近い走行への進化を目指します。

(2) 採択された実証実験の概要

【走行期間】

令和8年7月上旬頃～令和9年1月下旬頃(手動及びレベル2^{※2}での走行)

(今年度は、経路生成 AI 導入による学習走行等のため、一般試乗の予定はありません。)

※2 レベル2とはシステムがアクセル・ブレーキ及びハンドルの両方を部分的に操作し、運転手を補助する自動運転のことです。

【車両】



車両サイズ	中型バス
車両名	Minibus 2.0
車両メーカー	ティアフォー
乗車定員	16名(自動運転時・運転席を含む。)
最高速度	40km/h(自動運転時) ^{※3}

※3 従来から5km/h向上します。

【走行ルート】



名称	羽田連絡線
区間	大師橋駅～天空橋駅 ^{※4}
距離	約8.9km(往復)

※4 殿町通りから国道409号に経路変更します。

※走行期間・車両・走行ルートは、報道発表時点の情報であり、今後変更となる可能性があります。

2 国土交通省の自動運転社会実装推進事業について

(1) 事業概要

本事業は、社会の受容性を高め、かつ地域に根ざした自動運転の通年運行等の実施、レベル4自動運転移動サービスの実現を前提とした技術の磨き上げ、事業性の検討等を通じて、自動運転を活用した地域づくりを推進する取組に係る事業等に要する経費を補助し、自動運転技術を活用した持続可能な移動サービスを構築し、継続的にサービスを提供していくことを目的としています。公募期間は、令和8年3月27日から令和8年4月30日まででした。

【事業区分・補助内容】

事業区分	内容	補助率	補助上限額
重点支援事業	地域公共交通の先駆的・優良事例として横展開できる事業	4/5	4億円
一般支援事業	重点支援事業を除く、早期にレベル4実装が見込まれる事業	4/5	2億円
省人化支援事業	レベル4実装済みで、省人化に資する技術的課題解決に取り組む事業	2/5	2千万円

※川崎市は重点支援事業として採択

(2) 川崎市が受けられる主な支援内容

- ・自動運転レベル4実装に向けた実証実験に要する経費への補助

(3) 採択されたことにより期待される効果

- ・計画的な自動運転レベル4実装の実現（市民の移動手段の確保）
- ・国からの支援による効率的な事業執行
- ・自動運転技術の社会実装に向けたモデル地域としての都市ブランドの向上

(参考) ホームページ（国土交通省）

URL https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000553.html

問合せ先
川崎市まちづくり局交通政策室 藤島
電話 044-200-1485（内線35805）